

2013年(第44回大会)

学校・家庭・地域から

主権者を育てる民主主義教育を確立しよう

全国民主主義教育研究会 第44回 大会

於 福島・飯坂温泉 あづま荘

昨年の大会は、「東電・福島原発事故」後、政治・経済・思想面での「全面的な質的変化」を探る取り組みが続く状況のもとで行われました。毎週金曜日には、国会前・首相官邸前でシュプレヒコールが鳴り響き、大江健三郎氏らが呼びかけた集会は、大きなものになっていました。日本社会の根源を探る取り組みのなかで、どのような進路が合意できるか、民主主義が問われていたのです。しかしながら、衆議院選挙の結果、かつて(2006年)教育基本法改正した者が、第二次内閣を組織する状況になっています。この政権は、新たに憲法改正を真正面から掲げています。このような状況のなか、ポスト3.11の民主主義を考え続けること、その大切さを示すためにも全国民主主義教育研究会は、福島で全国大会を開くことにしました。ふるってご参加ください。

S 全体会

◆ 記念講演 (第1日目)

清水 修二 氏

(福島大学前副学長・福島県チェルノブイリ調査団団長)

講演テーマ:「原発災害と地域再生の道」

◆ 特別報告 (第2日目)

報告テーマ:「おたがいさまセンターから見えてきたこと

—福島最大の避難所『ビックパレット』でのとりくみ—

報告者: **天野 和彦 氏**

(福島大学うつくしまふくしま未来創造センター特任准教授)

◆ 現地視察 (第3日目)

フィールドワーク: 川俣～飯館～南相馬(原町地区)～吉沢牧場の方面

☆とき・ところ

◆とき **2013年 7月29日(月)、30日(火)、31日(水)**

◆ところ **飯坂温泉 あづま荘** (公立学校共済組合保養所)

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字中ノ内1-1

Tel. 024(542)3381

交通アクセス(4面に現地交通案内図を掲載しています)

JR福島駅(新幹線)～福島交通飯坂線で約20分「飯坂温泉」下車

タクシー5分・徒歩20分

◆費用 大会参加費 8000円 現地視察無しの場合は5000円 学生5000円
宿泊費(2泊5食)25000円(7月29日の交流会代を含む)

大会日程

日	時	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7/29日 (月)					受付		開会	基調報告			夕食交流会			
7/30日 (火)			分科会		昼食	分科会		特別報告			夕食		全国委員会	
7/31日 (水)		会員 総会		現地	視察					解散				

☆分科会

第1分科会 民主主義思想

昨年度は、「倫理・政経」を主として教える「公民科教育」を担う教師の資質又その教授方法の考察を行ってきた。本年度は、①倫理学が日常倫理の学であるという考えのもと、高校社会科の科目「倫理」の授業を日常倫理の視点から構成していく試みと、②目下の民主制の危機という問題意識から、ワイマール共和国の崩壊過程を展開する実践、の報告がある。日本社会のさらなる民主化のための、「善き市民」育成を検討していきたい。

- レポート①「日常倫理を意識した科目『倫理』の再構成」(東京・高校)
 ②「ワイマール共和国の崩壊過程
 —民主制の危機—の授業構成を考える」(東京・高校)
 ③「学校教育で育てたい社会認識—労働学校の体験から—」(愛知・大学)

第2分科会 憲法と平和

沖縄の辺野古に新基地を押しつける動きが加速化しています。また、憲法改正の発議要件を緩和する憲法第96条の改定が急浮上してきました。その先にあるのはどんな憲法と日本なのでしょうか。憲法をめぐる問題状況や高校生の憲法意識をふまえながら、いま憲法・平和教育にとって何が重要なのか、具体的な授業での取り組みをとおして話し合しましょう。

- レポート①「憲法尊重・中立の憲法教育を今行う」(北海道・高校)
 ②「憲法96条改正を考える授業」(京都・高校)
 ③「オスプレイから考える日米安保・憲法」(北海道・高校)

第3分科会 学力と授業づくり

授業をどうつくったらよいか。さらに、社会を見ぬく力と判断をする力を育てるにはどうしたらよいか、難しい問題である。本分科会では、「学力」を「授業づくり」と関連させて議論します。学力は多義的な言葉ゆえ、授業づくりも多様になります。「学力低下論」の対策として新学習指導要領が発表され、これに基づく「新しい社会科の授業」が提言されていくはずです。「政府の側」の授業づくりに対抗できる、全民研の授業づくりを一緒に考えていきたいと思います。

- レポート①「岩手三陸沿岸の被災から『政治教育』を考える」(岩手・大学)
 ②「私の『論文指導』と文科省の『言語活動』の充実」(神奈川・高校)
 ③「判例学習の可能性」(千葉・高校)

第4分科会 自立と連帯を育てる&経済と暮らし

今日の経済格差そして農業などをふくめた国民経済の再生をはかるために、新自由主義とどう有効に対抗するか。授業実践を通して考えたい。また、交流を通して各学校のHR、学年行事、生徒会活動、自主活動を見通しながら検討したい。

- レポート①「安保は軍事だけじゃない、戦後の日米経済関係とTPP」(大阪・高校)
- ②「今日の社会保障・労働をどう教えたか」(神奈川・高校)
- ③「高校生徒会、連携の動きが始まる」(千葉・中・高校)

★申し込みについて

- ① 資料作成の都合上、事前に参加申込書を下記宛にお送りください。
 〒187-0022 東京都小平市上水本町5-21-1-811 山崎裕康 宛
 Tel & Fax 042(325)1552
- 大会参加費・・・8000円(現地視察無しの場合、5000円) 学生5000円
 宿泊費・・・25000円(2泊5食)「第1日目の交流会費含む」
 宿泊費、大会参加費は当日、現地でお支払いください。
- ② 大会に関する問い合わせは、山崎(大会担当常任委員)までお願いします。
 *会場での印刷はできません。視聴覚器具については、早めに山崎までご連絡、ご相談ください。
 *第1次〆切 7月10日(水)。 第2次〆切7月26日(金)。 宿舍予約の関係上、できるだけ早くお願いします。
 *公立学校共済の方は、宿泊割引が可。公立学校共済組合の案内を参照してください。

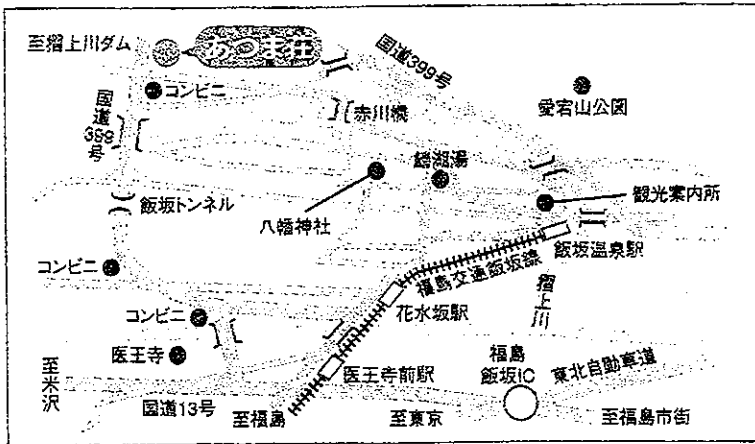
全民研第44回大会参加申込書

2013年 月 日

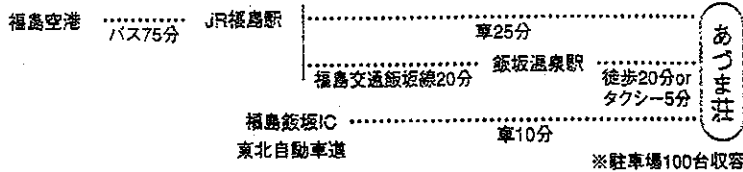
氏名	男・女	歳	会員・未会員			
住所 〒						
Tel.		E-mail.				
*下の希望欄に○をつけてください。						
職種	教員(小・中・高・大) 学生・院生 その他()		朝食	昼食	夕食	宿泊
勤務先		7/29(月)	/	/		
Tel.		7/30(火)				
参加希望	分科会() ()	7/31(水)	/	/	/	/
*お部屋は原則として禁煙です。		現地視察 (31日)				

7月31日(火)の昼食は別扱いです。

○大会会場案内



公立学校共済組合飯坂保養所



TEL.024(542)3381
 FAX.024(542)8770
<http://www.f-adumasou.jp/>

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字中ノ内1-1

全国民主主義教育研究会機関誌

民主主義教育21

VOL7号

2013年版 価格1500円
 本号では、憲法理念、国際紛争（領土問題）や、若者の未来、日本型福祉とその行方など多面的な角度から憲法教育の課題に迫り民主主義教育の原点を解明しています。

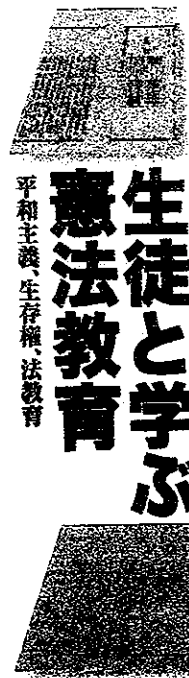
連絡先 全国民主主義教育研究会
 住所 〒番号 157-0062
 世田谷区南烏山 3-11-29-404
 安達方

qqy222x9@happytawn.ocn.ne.jp



杉原泰雄
 多重危機の進行と
 憲法と公教育

後藤道夫
 日本型生活保障システムの崩壊と
 新たな運動の方向性



平和主義、生存権、法教育

孫崎享
 尖閣列島問題を考える

湯浅誠
 日本社会と若者の未来

全国民主主義教育研究会★編